

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策として、管理者、職員、消防との連携は取れているが、近隣の住民や地域の方からの協力体制が必要ではないか。	避難訓練など、緊急時の対応について現状を知ってもらい、協力体制の構築に努める。	運営推進会議の機会を活用し、避難訓練の様子や結果を報告することで、近隣や関係者に高齢者施設の災害時の対応を知ってもらう。また協力の要請も行う。	3ヶ月
2	4	運営推進会議の議題が毎回同じである。現状の報告も大事だが、緊急時(災害時等)の対応など、地域の方や関係者で共有を図る機会とすることも必要ではないか。	季節行事など、施設で行っている活動について紹介し、知ってもらう。避難訓練など、緊急時の対応について現状を知ってもらう。	施設行事に参加してもらい、普段と違うグループホームでの生活の様子を見てもらう。避難訓練の様子や結果を報告し、近隣や関係者に高齢者施設の災害時の対応を報告する。また協力の要請も行う。	3ヶ月
3	8	権利擁護に関する制度の理解と活用について、職員への周知をさらに図る必要がある。また外部の方への情報提供の仕方に工夫が必要。	職員が権利擁護に関する制度について、外部の方に尋ねられた時に説明できるようにする。資料などで情報提供ができるようにする。	権利擁護に関する制度について、資料を通じた勉強を各自に行ってもらい、報告書として提出する。また、施設内での勉強会で理解度の確認を行う。外部の方の目につきやすいよう、玄関に資料を掲示する。	3ヶ月
4	54	ホームの玄関はすっきりしているが、もう少しわかりやすく、家庭的な雰囲気がある方が良くはないか。	ホームの入口をわかりやすくし、入居者の作品を飾るなど工夫する。	季節ごとに飾りを変更したり、入居者の作品を展示する等、入りやすい雰囲気になるよう工夫する。各階の担当職員で実施する。	3ヶ月
5	42	食事時間について、行事の際だけでなく、毎回入居者と共に食卓を囲み、コミュニケーションが図れる体制を取ることが望ましい。	入居者と職員と一緒に食事をする機会を設ける。	検食の機会を利用して、入居者と一緒に食事をする時間を設ける。席は固定せず、多くの入居者と一緒に食事、コミュニケーションを図れるようにする。	1ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。

注3) この目標達成計画は、外部評価結果が確定した後作成し、評価機関へ送付してください。また、評価結果と一緒に市町村に提出してください。